

5G 標準必須特許及び標準提案に関する研究報告（2023 年）の概要紹介

2023 年 4 月 26 日
JETRO 香港事務所

2023 年 4 月 21 日、中国信息通信研究院¹が「**世界 5G 標準必須特許及び標準提案に関する研究報告（2023 年）**」（全球 5G 标准必要专利及标准提案研究报告（2023 年）²）を公表した（全 30 頁）。

概要欄の説明によれば、本報告は、ETSI³特許データベース内の 5G 宣言特許データ（5G 声明专利数据）と 3GPP⁴データベース内の 5G 提案データ（5G 提案数据）に基づいて分析されたものである。

概要は以下の通りである。

- 2022 年 12 月末時点で、全世界の 5G SEP 宣言数（累計）は 8.49 万件を超え、有効特許ファミリー数（累計）は 6.04 万。
 - 2017 年（5G 規格策定年）から 2021 年まで 5G SEP 宣言数は増加し続けたが、2022 年の宣言数（約 1.75 万件）は 2021 年（約 2 万件超）を下回った。
 - Derwent の特許検索データベースで検索された全特許（累計で約 8 万件）のうち、45.7%が特許権利期間中の状態、32.7%が公開状態（特許授権前）、21.6%が権利失効の状態。
 - 優先権主張された年で見ると、2017 年（9,000 件弱）まで増加、2017～2019 年は横ばいの傾向、最多は 2019 年の約 9,000 件、2020 年は 7,000 件に減少。（以降は公開前の文献も含み得るため参考値。）
 - 有効特許ファミリー数の上位 10 社は、順に、ファーウェイ、クアルコム、三星、ZTE、LG、ノキア、エリクソン、大唐、OPPO、小米。（詳細は次ページの別紙を参照）
- （以上）

¹ 中国信息通信研究院は、工業情報化部直属の組織である。

² [原文] http://www.caict.ac.cn/kxyj/qwfb/ztbg/202304/t20230421_418829.htm

³ European Telecommunications Standards Institute（欧州電気通信標準化機構）の略 [ウェブサイト] <https://www.etsi.org/>

⁴ Third Generation Partnership Project の略 [ウェブサイト] <https://www.3gpp.org/>

(別紙)

	専利権者	有効特許 ファミリー数 [件] (※1)	全体に 占める割合 [%]	うち、 権利期間中		IP5 のいずれかで 権利期間中のも のに占める割合 [%]	中国で権利期 間中のものに 占める割合 [%]	中米欧の三極で 権利期間中のも のに占める割合 [%]
				[件] (※1)	全体に 占める割合 [%]			
①	ファーウェイ	約 8,500	14.59	約 7,000	17.54	17.56	20.85	20.90
②	クアルコム	約 5,800	10.04	約 3,800	9.62	9.63	10.79	14.50
③	三星	約 5,200	8.80	約 3,600	9.33	9.32	7.01	8.20
④	ZTE	約 4,700	8.14	約 3,000	7.53	7.54	9.20	4.97
⑤	LG	約 4,700	8.10	約 3,400	8.61	8.62	4.78	5.78
⑥	ノキア	約 4,000	6.82	約 3,000	7.45	7.45	5.71	7.27
⑦	エリクソン	約 3,600	6.28	約 2,000	5.09	5.09	4.31	5.81
⑧	大唐	約 2,500	4.34	約 1,900	4.86	4.87	5.97	3.13
⑨	OPPO	約 2,400	4.19	約 1,900	4.78	4.78	5.50	4.81
⑩	小米	約 2,300	4.10	約 900	2.33	2.32	2.71	1.84
		-	約 75.4%	-	約 77.1%	約 77.2%	約 76.8%	約 77.2%

(※1) 注意：件数はグラフから目分量で読み取ったものです。算出した場合と数値が異なり得ます。